

平成 24 年度財務状況

学校法人は、昭和 46 年 4 月 1 日付文部省令第 18 号「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。この「計算書類」は一般企業の決算書に相当し、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表の 3 表で構成されます。

学校法人行吉学園の平成 24 年度計算書類（決算書）は、監事の監査を経て、平成 25 年 5 月 24 日の理事会で承認され、つづく評議員会へ報告され了承されました。また、独立監査人である監査法人からこの計算書類は適正であるとの監査報告をうけています。

【平成 24 年度決算概要について】

平成 24 年度財務の基本方針は、財政収支健全化推進の観点から一般経費の緊縮を継続的に行いつつ、事業計画に基づき学生サービスの改善・充実に係る施設・設備工事を行いました。

平成 23 年度は、文部科学省高等教育局私学部から退職給与引当金について引当率を 100%とする統一指針が出され、本学もその不足分を一括計上したため大幅な赤字となりましたが、平成 24 年度はその負担もなく通常年度の決算状況となりました。

- (1) 本年度も学生募集が好調に推移し学納金収入は、前年度比 34 百万円増加の 4,924 百万円になりました。また、手数料収入は、志願者増加による入学検定料収入で予算を上回る額となりました。帰属収入全体では、預金金利の低下による資産運用収入の減少や事業収入の減額などで、予算を 2 百万円下回る 6,014 百万円となりました。
- (2) 消費収支の支出面では、予算管理の徹底と執行額の見直しなどにより、予算を大幅に下回る 5,737 百万円となりました。
- (3) 以上の要因により、単年度の経営指標である帰属収支差額は、277 百万円の黒字となりました。尚、消費収支差額は、基本金組入額に設備借入金の返済もあり、若干の赤字となりました。
- (4) その他、学生サービスや教育環境の改善に係わる施設・設備関係の充実は、年次計画に基づき須磨 D 館の外壁改修とエレベーターリニューアル及び家政学部の実験台等更新、ポートアイランドキャンパスの教職支援及びキャリアサポートセンターの改修、更には須磨・ポートアイランドキャンパスの各教室の情報機器更新等を行ないました。

【掲載する計算書類等】

- ・ 資金収支計算書（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）
- ・ 消費収支計算書（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）
- ・ 貸借対照表（平成 25 年 3 月 31 日）
- ・ 財産目録
- ・ 監査報告書